

記入後は財団事務局へ送付してください（FAX：027-220-4421または担当へメール送付）

啓発活動報告書

※全項目を記入してください。

令和7年10月18日（土曜日）		天候	晴のち曇
活動場所	鳩待峠	活動時間	7：45～11：20
〈参加者番号・氏名〉 記入者に◎をつけてください。 ◎ 980			
〈当日の具体的なボランティア活動のコーディネート（班分け・活動内容等）〉 ・入山口での啓発活動 尾瀬ヶ原入口において、入山者への啓発活動を実施。 夏のピーク時に比べ軽装者はほぼ無く、全体的に妥当な装備等であったので、その点では安心して見送ることができた。特に危険なこと、突発的な出来事もなく、穏やかに活動できた。 中国系、韓国系の団体ツアーが多く、言語の壁に苦戦した。 ・巡回美化活動 18～19日にかけ、鳩待峠～山ノ鼻間の美化活動を実施。お菓子の入った袋など、少しはあるが、落とし物が目立った。			
〈引継事項（状況・特記事項等）〉 ・トイレの場所、バスチケット購入の場所について何件かの質問を受けた。 ・新設のカフェ形式の施設は午前9時開店のため、早朝の雨模様、風のある時、寒い時に入山者が退避できる場所がない。今のところ閉店した旧休憩所を使わせているだけだが、明らかに老朽化してきている。是非、簡易的な無料休憩場所を残しておいてほしい。 ・中国、韓国からのツアーがかなり多いとなると、入山口に常に外国語の案内看板が設置されると安心かもしれない。			
〈ふりかえり（反省と改善方法、気づいたことなど）〉 今回は久々の入山口啓発活動であったが、特に問題なく終わり、安心した。 今後の課題として、鳩待峠を山岳リゾート化しようとするのはよいが、早朝や悪天候時の退避場所が確保できない不便さ等について、鳩待峠の整備をお願いしたいと思う。			
※報告内容のホームページ・機関誌等への掲載について（報告者は登録番号のみ表示） <input checked="" type="radio"/> 可 • 否 (いずれかに○を付けてください)			

(公財) 尾瀬保護財団